

4. 花き科

(1)前田知・城浦治男(1954):花木の自発休眠に関する研究(第1報)自発休眠後期の挿木適期。
農及園、29(11):91～92。

(2)横山精治・後藤田栄一(1960):自然交雑による鹿の子と山百合の種間雑種について。
徳島農試研報、(5):36～38。

(3)横山精治・後藤田栄一(1962):自然交雑による鹿の子と山百合の種間雑種について第2報。
徳島農試研報、(6):42～46。

(4)住友昭利・後藤田栄一(1966):シクラメンの研究(第2報)。シクラメン種子の発芽発育
段階における適温について。
徳島農試研報、(8):31～34。

(5)住友昭利・後藤田栄一(1966):キクの挿木に関する試験。
徳島農試研報、(8):35～37。

(6)住友昭利・後藤田栄一(1967):シクラメンの研究(第3報)シクラメン種子の発芽に及ぼす
変温の影響について。
徳島農試研報、(9):44～46。

(7)松崎昇・山下喬之(1967):促成鉄砲ユリの遮光が生育に及ぼす影響について。
徳島農試研報、(9):47～48。

(8)住友昭利・後藤田栄一(1968):シナナンテン栽培における摘葉および摘芯に関する試験。
徳島農試研報、(10):85～91。

(9)住友昭利・後藤田栄一(1970):シクラメン種子の大きさと発芽およびその後の発育との
関係について。
徳島農試研報、(12):10～14。

(10)前田浩典・住友昭利・後藤田栄一(1975):ヒオウギの種子発芽温度(ヒオウギに関する
研究Ⅰ)
徳島農試研報、(14):31～32。

(11)住友昭利・前田浩典・後藤田栄一(1975):ヒオウギの花芽分化並びに発育(ヒオウギに
関する研究Ⅱ)
徳島農試研報、(14):33～36。

(12)住友昭利・後藤田栄一・前田浩典(1975):フリージャ促成栽培における再生球(仮称)利用
並びに施肥量について。
徳島農試研報、(14):37～42。

(13)前田浩典・住友昭利・後藤田栄一・野田靖之(1978):ヒオウギに関する研究(第3報)。
ヒオウギの生育と開花に及ぼす日長と温度の影響。
徳島農試研報、(16):33～37。

(14)前田浩典・住友昭利・野田靖之(1978):ヒオウギに関する研究(第4報)加温開始期が生育
および開花に及ぼす影響。
徳島農試研報、(16):38～40。

(15)住友昭利・前田浩典(1978):ヒオウギに関する研究(第5報)ビニールトンネルによる簡易
保温がヒオウギの生育開花並びに切花品質に及ぼす影響。
徳島農試研報、(16):41～47。

(16)住友昭利・前田浩典(1981):チューリップ促成栽培における球根の冷蔵法および栽培夜温
が開花ならびに切花品質に及ぼす影響。
徳島農試研報、(19):8～15。

(17)前田浩典・住友昭利(1982):冷蔵加温電照ギクにおける昼夜温管理が燃料消費および生育
開花に及ぼす影響。
徳島農試研報、(20):27～36。

(18)前田浩典・住友昭利(1982):ヒオウギに関する研究(第6報)。茎ざし繁殖とさし木苗の栽培
適応性。
徳島農試研報、(20):37～42。